

6. 京都市洛西ふれあいの里デイサービスセンター

生活介護事業 特定相談支援事業所

(1) 総 括

令和4年度の年間平均稼働率は91.3%と、前年度の87.5%を上回ることができた。新型コロナウイルスの影響については、7月（ご利用者4名、職員2名）、8月（ご利用者1名）、11月（ご利用者1名）に陽性者が発生したが、必要最小限の休所に留めることができたため、全体的には大きな影響はなかった。

ただ、コロナ以外の部分では、ご家族の体調不良で、長期間ショートステイを継続利用され、利用者1名通所されない期間が長くあったことで、かなり稼働率に影響があった。

令和5年2月以降は、既契約者の利用日数増を行い、稼働率96%～98%台まで上げることができている。収支についても、積立金を取り崩す必要もなく、黒字を確保することができた。来年度以降は定員20名に近い稼働率（96%以上）をキープできる見込みとなっている。

利用者支援の面においては、医療的ケアが必要なご利用者が1名増えたことにより、対応できる職員を増やすため、喀痰吸引等実地研修を進めた。新たに4名の支援職員を追加し、医療的ケアの必要なご利用者に対応できるように体制の強化に努めた。

その他、ここ数年、知的障害のご利用者の受け入れを行ってきたこともあり、強度行動障害に対する支援の構築が大きな課題となっている。今年度もかなり不安定な状態で、洛西デイで落ち着いて過ごすことができず、常時、マンツーマン対応で見守りを行わなければならないご利用者がおられた。洛西デイは今まで身体障害者を中心に支援を行ってきたため、強度行動障害のあるご利用者への専門的な知識が不足しており、対応に苦慮することが多かった。次年度は強度行動障害支援者養成研修の受講を進め、専門的な知識を学び、ご利用者が安心して過ごせる環境を整えていく予定である。

施設整備面においては、令和5年4月の民間移管に伴い、洛西デイの施設整備計画を本部と協議しながら進めている。かねてよりご家族から希望の多かった洛西デイの入浴設備を新設する方向で次年度より計画している。ご家族の高齢化も進んでおり、ご自宅での入浴が難しくなっている方も増えているため、それらのニーズに応えるためにも入浴設備の整備は、一番優先度が高いと考えている。その他、雨漏り等の対策として屋根の修繕も予定している。

次年度以降、施設整備費としてかなりの金額を必要とするが、収支の状況をしっかりと見ながら、安定的な収入を継続して得られるようにしていく必要がある。

令和5年3月には洛西デイとして初めて第三者評価を受診した。結果はまだ出ていないが、洛西デイの現状をしっかりと分析することができた。今後、結果を踏まえ改善に努めていく。

(2) 職員体制（令和4年度末現在）

管理者 1名、サービス管理責任者（管理者兼務）1名
相談支援専門員（支援職員兼務）2名、

支援職員 14 名（正規職員 6 名、補助職員 3 名、非常勤職員 5 名）
 看護師 1 名（嘱託）
 事務職員 1 名（補助職員）
 （常勤換算 12.8 名）

（３）利用者の状況（令和４年度末現在）

ア 在籍人数 27 名（男性 14 名・女性 13 名）

定員 20 名

年間実施日数 243 日

延べ利用者数 4436 名 稼働率 91.3%

平均障害程度区分 5.8 一日平均人数 18.2 名

イ 年齢・男女別人数

（名） （歳）

年齢	20未満	30未満	40未満	50未満	60未満	65未満	65以上	計	平均年齢
男性	0	3	8	1	2	0	0	14	35.3
女性	1	5	3	2	0	1	1	13	33.0
合計	1	8	11	3	2	1	1	27	34.6

ウ 起因疾患別人数

（名）

	男性	女性	計
脳性マヒ	6	8	14
脊髄損傷	0	0	0
脳血管障害後遺症	1	0	1
頭部外傷後遺症	0	0	0
その他の病気	7	5	12
計	14	13	27

エ 居住区別

（名）

行政区	西京区	右京区	計
男	9	5	14
女	11	2	13
計	20	7	27

オ 医療的ケアの対応

現在、医療的ケアが必要な方は 3 名。吸引、胃瘻、導尿を看護師が中心に行っている。内 1 名は、障害の重度化に伴い、人工呼吸器を使用しての生活が必要となられている。現在、ケアできる体制や設備環境が整っていない等、当該利用者が安全に通所して頂くには課題も多く、当事業所の利用再開には至っていない。

（４）重点方針及び事業内容と取組結果

ア 利用者の多様化（年齢の幅、障害特性等）に伴う、支援の個別性の認知、利用者個々のニーズの把握、及び、支援体制の強化

洛西デイのご利用者の障害特性の幅は年々広がってきており、身体障害、重症心身障害、知的障害など、様々な障害特性に対応できる力が求められている。

今年度は医療的ケアが必要なご利用者の支援体制を強化するために、令和４年 11

月頃より、喀痰吸引等実地研修（第三号研修）を進めた。新たに4名の支援職員が医療的ケアに対応できるように、看護師の指導の下、研修を重ねている。

令和5年3月末時点で3名は全て研修を終了したが、残り1名は令和5年度4月中に終了予定となっている。

イ チーム支援力を高め、安全、安心な生活に加え、利用者のQOL（生活の質）にも目を向けた支援の実現

個別支援計画に挙がっているご利用者ニーズの達成に向けて、日中活動でどのような関りが必要であるか、一覧表を作成し、全職員に周知することで支援内容の工夫に取り組むことができた。令和4年度後期より、新型コロナウイルスの影響で控えてきたクッキング活動を再開している。食べることが大好きなご利用者が多く、自分たちで調理しお楽しみとして食べるという、ご利用者にとってわかりやすい活動であるため、楽しく積極的に参加される方が多かった。調理工程にもご利用者それぞれが持っておられる力を使ってもらいながら、しっかりと取り組むことができた。

ウ 虐待防止への取り組みの強化。虐待防止計画のもと、虐待事案の発生を未然に防ぐと共に、職員のメンタルヘルスケアの充足にも繋げる。

令和4年度は年度初めに職員全体研修を実施し、人権研修で学んだ動画を視聴し、意見交換等を行った。また8月と12月にセルフチェックを実施し、リスク・虐待防止委員会にて分析を行い、改善策等を職員会議で周知した。洛西デイで当たり前となっている支援が、第三者から見た場合に違和感を感じるような場面があるので、逆に経験年数の浅い職員に積極的に意見を求め、できるだけフラットな状態で洛西デイの現状を把握するように努めた。

エ ICT導入の推進。タブレット等による記録業務の効率化やリモート研修等の参加の推進、及び、利用者支援ツールとしての活用を段階的に進めていく。

職員セルフチェックの集計にGoogleフォームを活用し、業務の効率化を図った。また相談支援では、メディカルケアステーション（MCS、多職種連携ツール）を一部活用し、医療や介護などの関係機関との情報共有をタブレット等で速やかにできるようにした。

オ 人件費予算の拡充。職員（補助・非常勤）の増員を目指し、利用者支援の充実（個別ケア対応）、職員の労務状況改善（有給休暇取得促進等）に繋げる。

令和4年度は、入所施設に移行される可能性が高かった利用者が1名おられたため、補正予算では給付費収入が大幅に減る予測を立てていた。そのため、人件費予算を拡充することはできず、新たに職員を増やすことはできなかった。有給休暇取得促進については、年度当初より12.5日以上の取得目標を掲げ、計画的に取得するようにした。

結果として、洛西デイとしては正規職員1名年間16.4日を取得することができ、目標を達成することができた。また男性の育休も1カ月程取得することができた。

カ 新型コロナウイルス感染対策の徹底、及び、事業継続に努める。併せて、稼働率を安定させ、経営の安定化を図る。目標としては稼働率 95%以上を目指す。

令和 4 年度の平均稼働率は 91.3%と目標の 95%には届かなかった。新型コロナウイルスの陽性者が 7 月、8 月、11 月に発生したが、必要最小限の休所に留めたため、さほど大きな影響はなかった。稼働率が思うように伸びなかった原因としては、週 5 回通所利用の方がご家族の体調不良等の理由により、入所施設でのロングステイ対応となった期間が長かった点が挙げられる。

令和 5 年 2 月以降は、既契約者の通所日数増を行い 96~98%台まで稼働率が上がっている。次年度以降は 95%以上の稼働率を維持できる状態までになっている。

キ 社会福祉法人としての役割を考え、地域との交流や繋がりを大切にし、公益的な取り組みを通して、地域に開かれた施設を目指す。

令和 4 年度は桂坂オータムフェスタ（地域住民主導の文化祭）に企画段階から参加し、洛西デイとしては、紙漉き商品の販売や書道、絵画等の作品展示をさせていただいた。残念ながら今回は新型コロナウイルスの感染予防を考慮し、ご利用者の参加は見合わせたが、職員についてはオータムフェスタのスタッフとして、地域住民の方々と協力しながらオータムフェスタの運営に携わることができた。

また例年行っている桂坂保育園との合同クリスマス会は、今年度も新型コロナウイルスの影響で中止となったが、洛西デイで作成した紙漉き商品（ペン立て）を保育園まで持参し、園児にプレゼントさせていただくことができた。

ク 特定相談支援事業の実施。利用者及び家族が安心して地域で生活ができるよう、計画相談を行い、他機関とも連携しながら、生活全般を支える。

計画相談利用者 19 名。相談支援専門員が中心となり、利用者やご家族の要望をしっかりと聴きし、在宅生活を維持できるように、関係機関と協力し合いながら取り組むことができている。

（5）情 報

ア 情報発信、開示の状況

トピックスを年 1 回発行（行事などの写真が中心の利用者家族向け広報誌）した。また、タブレット等を活用し、個別懇談会時等にご家族にご本人写真や動画等を見て頂くなど、当事業所での様子をお伝え出来るよう工夫した。

イ 利用者満足度、苦情解決の状況

大きな苦情には至っていないが、ご利用者・ご家族からの要望、指摘は日々あり、職員間での周知の徹底、及び、ご利用者・ご家族への丁寧な対応を心掛けている。

また、年度末には希望者に対して、個別懇談（本人・家族）を実施している。本年度、5 組のみの参加となったが、その他、ご利用者については、送迎時や電話等での対応とさせて頂いた。内容に関しては、令和 4 年度のサービス計画の実施状況・令和 5 年度に向けての要望などの聞き取りを行い、率直なご意見を伺うことが出来た。

また、満足度調査も行い、すべての方から「満足している」「どちらかという満足している」という回答を頂いている。コロナの対応については、現状の対応にご理解いただいている方が大半ではあったが、状況も変わってきていることから緩和してほしい

いとのご意見も見られた。特に外出が今後できるようになればというご意見が多かった。

ウ リスク管理の状況と課題

アクシデントとしてはご利用者の怪我(転倒)等、それぞれ件数は少ないが、発生している。その都度レポートを提出し、口頭や回覧にて周知すると共に、毎日の反省会や毎月の職員会議等で再発防止について確認している。

インシデントレポートに関しては、毎日の反省会の際にヒヤリハットを報告する時間を設けており、支援の中での気づきを大切に、タイムリーな情報共有、事故防止に努めている。また、毎月、リスク・虐待防止委員会を開催し、前月分のアクシデントレポート、インシデントレポートを再検証すると共に、原因や対策を講じている。

虐待防止に関しては、職員セルフチェックアンケートを実施し、不適切な支援の早期発見、防止に繋げている。令和4年度は8月と12月の年2回実施した。結果については集計し、開示すると共に、職員会議で改善策等を提示し、支援者の自己覚知と意識改善を図っている。

(6) 育 成

ア 実習生・ボランティアの受け入れに関しては、コロナ禍の為、ほとんどが中止となっている。

<実習生>

- ・介護等体験 2校(同志社大学1名、京都教育大学2名) 計3名。
- ・福祉施設体験実習はなし
- ・京都市新任職員研修、チャレンジ体験実習はなし。

<ボランティア>

桂坂住民サークル活動(紙芝居、オカリナ演奏)は例年12回(月1回)開催していたが、コロナ禍の影響もあり、本年度も中止となっている。ボランティア延べ人数0名。

イ 職員育成

(ア)新たに胃ろう増設されたご利用者が1名おられたため、喀痰吸引等実地研修(第3号研修)を職員4名に実施。年度内に全て終了できなかったが、4名中3名は終了している。医療的ケアが必要な利用者への理解や対応方法などを学ぶことができ、スキルアップに繋がった。

(イ)令和4年度の研修受講状況については、正規職員に対して全職員がいずれかの研修に参加し、スキルアップを図ることができた。

研修参加実績としては、以下の通り。

虐待防止研修、誤嚥窒息防止研修、メンター研修、次世代リーダー研修Ⅱ、普通救命講習、サービス管理責任者基礎研修、相談支援専門員スキルアップ研修、安全推進者研修、ストレスチェック集団分析グループコーチング研修、人権研修、メンタルヘルス研修に参加。

(7) 地域との交流・連携の状況

- ア 令和4年度は桂坂オータムフェスタ（地域住民主導の文化祭）に企画段階から参加し、洛西デイは、紙漉き商品の販売や書道、絵画等の作品展示をさせていただいた。
- イ 春と秋には地域のクリーンデイに参加し、施設周辺の草刈りやごみ回収を実施している。
- ウ 桂坂保育園との合同クリスマス会は、今年度も新型コロナウイルスの影響で中止となったが、洛西デイで作成した紙漉き商品（ペン立て）を保育園まで持参し、園児にプレゼントさせていただくことができた。

(8) 施設整備の状況

- ア 本年度は、ご利用者の生活に関わるような大きな不良箇所は確認されず、修繕箇所はなかった。
- イ 令和5年4月からの民間移管に伴い、洛西デイの施設整備計画を本部と協議しながら進めた。洛西デイとしては、ご家族から希望の多かった洛西デイの入浴設備を新設する方向で次年度より計画している。また雨漏り対策として屋根の修繕も予定している。

京都市洛西ふれあいの里デｲｯﾍﾞﾝｽｾﾝﾀｰ区分 資金収支計算書

(自) 2022年 4月 1日 (至) 2023年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位: 円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)
収入	障害福祉サービス等事業収入	[81,550,000]	[86,121,824]	[△ 4,571,824]
	自立支援給付費収入	(79,500,000)	(80,847,194)	(△ 1,347,194)
	介護給付費収入	78,990,000	80,288,345	△ 1,298,345
	計画相談支援給付費収入	510,000	558,849	△ 48,849
	特定費用収入	(1,980,000)	(1,656,697)	(323,303)
	特定費用収入 (課税)	300,000	0	300,000
	特定費用収入 (非課税)	1,680,000	1,656,697	23,303
	その他の事業収入	(70,000)	(3,617,933)	(△ 3,547,933)
	補助金事業収入 (公費) 不課税	40,000	3,553,983	△ 3,513,983
	受託事業収入 (公費) 課税	0	31,900	△ 31,900
	その他の事業収入 (課税)	30,000	14,550	15,450
	その他の事業収入 (不課税)	0	17,500	△ 17,500
	その他の収入	[830,000]	[999,799]	[△ 169,799]
	受入研修費収入	10,000	0	10,000
	利用者等外給食費収入	820,000	804,990	15,010
	雑収入	(0)	(194,809)	(△ 194,809)
	雑収入 (不課税)	0	194,809	△ 194,809
事業活動収入計 (1)		82,380,000	87,121,623	△ 4,741,623
事業活動による収入	人件費支出	[69,920,000]	[69,380,412]	[539,588]
	職員給料支出	(36,610,000)	(37,527,930)	(△ 917,930)
	職員給料支出 (課税)	820,000	897,918	△ 77,918
	職員給料支出 (不課税)	35,790,000	36,630,012	△ 840,012
	職員賞与支出	11,570,000	9,296,632	2,273,368
	非常勤職員給与支出	(11,780,000)	(12,003,739)	(△ 223,739)
	非常勤職員給与 (課税)	390,000	483,139	△ 93,139
	非常勤職員給与 (不課税)	11,390,000	11,520,600	△ 130,600
	退職給付支出	1,350,000	1,374,925	△ 24,925
	法定福利費支出	8,610,000	9,177,186	△ 567,186
	事業費支出	[7,140,000]	[7,104,818]	[35,182]
	給食費支出	1,820,000	1,657,361	162,639
	保健衛生費支出	60,000	0	60,000
	教養娯楽費支出	100,000	32,600	67,400
	水道光熱費支出	(1,440,000)	(1,534,782)	(△ 94,782)
	電気料	420,000	407,642	12,358
	ガス料	720,000	814,341	△ 94,341
	上下水道料	300,000	312,799	△ 12,799
	消耗器具備品費支出	970,000	894,132	75,868
	保険料支出	410,000	374,750	35,250
	賃借料支出	330,000	375,049	△ 45,049
	教育指導費支出	670,000	576,305	93,695
	車輛費支出	(1,300,000)	(1,659,839)	(△ 359,839)
	燃料油脂費	1,300,000	1,630,929	△ 330,929

京都市洛西ふれあいの里デｲｰﾋﾞｿﾝﾀｰ区分 資金収支計算書

(自) 2022年 4月 1日 (至) 2023年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
支 出	その他の車両費	0	28,910	△	28,910
	雑支出	(40,000)	(0)	(40,000)	
	雑支出(課税)	20,000	0	20,000	
	雑支出(不課税)	20,000	0	20,000	
	事務費支出	[6,800,000]	[5,846,368]	[953,632]	
	福利厚生費支出	(420,000)	(318,215)	(101,785)	
	福利厚生費(課税)	260,000	231,370	28,630	
	福利厚生費(不課税)	160,000	86,845	73,155	
	旅費交通費支出	60,000	10,150	49,850	
	研修研究費支出	50,000	8,220	41,780	
	事務消耗品費支出	410,000	331,368	78,632	
	印刷製本費支出	110,000	66,634	43,366	
	燃料費支出	10,000	0	10,000	
	修繕費支出	1,550,000	1,020,232	529,768	
	通信運搬費支出	290,000	330,545	△ 40,545	
	会議費支出	10,000	0	10,000	
	広報費支出	130,000	4,400	125,600	
	業務委託費支出	2,640,000	2,552,358	87,642	
	手数料支出	70,000	53,077	16,923	
	租税公課支出	210,000	213,900	△ 3,900	
	保守料支出	480,000	537,004	△ 57,004	
	渉外費支出	190,000	188,286	1,714	
	諸会費支出	(110,000)	(4,000)	(106,000)	
	諸会費支出(課税)	40,000	0	40,000	
	諸会費支出(不課税)	70,000	4,000	66,000	
	雑支出	(60,000)	(207,979)	(△ 147,979)	
	雑支出(課税)	50,000	23,800	26,200	
	雑支出(不課税)	10,000	184,179	△ 174,179	
	支払利息支出	[30,000]	[9,024]	[20,976]	
	その他の支出	[520,000]	[504,951]	[15,049]	
	利用者等外給食費支出	520,000	493,500	26,500	
	雑支出	0	11,451	△ 11,451	
	事業活動支出計(2)	84,410,000	82,845,573	1,564,427	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 2,030,000	4,276,050	△ 6,306,050	
施 設 整 備 等 に よ る 支 出					
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	固定資産取得支出	[450,000]	[437,580]	[12,420]	
支 出	器具及び備品取得支出	450,000	437,580	12,420	
	ファイナンス・リース債務の返済支出	[180,000]	[112,418]	[67,582]	

京都市洛西ふれあいの里デｲｰﾋﾞｾﾝﾀｰ区分 資金収支計算書

(自) 2022年 4月 1日 (至) 2023年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位: 円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)
収 支				
	施設整備等支出計 (5)	630,000	549,998	80,002
	施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	△ 630,000	△ 549,998	△ 80,002
そ の 他 の 活 動 に よ る 収 支	積立資産取崩収入	[3,320,000]	[0]	[3,320,000]
	人件費積立資産取崩収入	2,500,000	0	2,500,000
	備品等購入積立資産取崩収入	820,000	0	820,000
	拠点区分間繰入金収入	[7,410,000]	[7,780,000]	[△ 370,000]
	その他の活動収入計 (7)	10,730,000	7,780,000	2,950,000
	拠点区分間繰入金支出	[8,070,000]	[11,077,000]	[△ 3,007,000]
	その他の活動支出計 (8)	8,070,000	11,077,000	△ 3,007,000
	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	2,660,000	△ 3,297,000	5,957,000
	予備費支出 (10)	0		0
	当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	0	429,052	△ 429,052
	前期末支払資金残高 (12)	11,621,946	11,621,946	0
	当期末支払資金残高 (11) + (12)	11,621,946	12,050,998	△ 429,052

京都市洛西ふれあいの里デｲｰﾍﾞﾝｽｾﾝﾀｰ区分 事業活動計算書

(自) 2022年 4月 1日 (至) 2023年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収益	障害福祉サービス等事業収益	[86,121,824]	[82,248,439]	[3,873,385]
	自立支援給付費収益	(80,847,194)	(76,559,247)	(4,287,947)
	介護給付費収益	80,288,345	76,021,678	4,266,667
	計画相談支援給付費収益	558,849	537,569	21,280
	特定費用収益	(1,656,697)	(1,655,592)	(1,105)
	特定費用収益(非課税)	1,656,697	1,655,592	1,105
	その他の事業収益	(3,617,933)	(4,033,600)	(△ 415,667)
	補助金事業収益(公費)不課税	3,553,983	3,881,000	△ 327,017
	受託事業収益(公費)課税	31,900	128,700	△ 96,800
	その他の事業収益(課税)	14,550	100	14,450
	その他の事業収益(不課税)	17,500	23,800	△ 6,300
	サービス活動収益計(1)	86,121,824	82,248,439	3,873,385
サービス活動増減の部	人件費	[71,645,412]	[58,449,751]	[13,195,661]
	職員給料	(37,527,930)	(32,213,209)	(5,314,721)
	職員給料(課税)	897,918	1,078,916	△ 180,998
	職員給料(不課税)	36,630,012	31,134,293	5,495,719
	職員賞与	7,105,132	4,230,380	2,874,752
	賞与引当金繰入	4,456,500	2,340,000	2,116,500
	非常勤職員給与	(12,003,739)	(10,633,075)	(1,370,664)
	非常勤職員給与(課税)	483,139	407,142	75,997
	非常勤職員給与(不課税)	11,520,600	10,225,933	1,294,667
	退職給付費用	1,374,925	1,243,442	131,483
	法定福利費	9,177,186	7,789,645	1,387,541
	事業費	[7,104,818]	[8,275,181]	[△ 1,170,363]
	給食費	1,657,361	1,814,001	△ 156,640
	保健衛生費	0	288,321	△ 288,321
	教養娯楽費	32,600	45,365	△ 12,765
	水道光熱費	(1,534,782)	(1,194,635)	(340,147)
	電気料	407,642	297,846	109,796
	ガス料	814,341	594,306	220,035
	上下水道料	312,799	302,483	10,316
	消耗器具備品費	894,132	2,002,014	△ 1,107,882
	保険料	374,750	505,530	△ 130,780
	賃借料	375,049	267,227	107,822
	教育指導費	576,305	611,552	△ 35,247
	車輛費	(1,659,839)	(1,541,536)	(118,303)
	燃料油脂費	1,630,929	1,417,916	213,013
	その他の車両費	28,910	123,620	△ 94,710
	雑費	(0)	(5,000)	(△ 5,000)
	雑費(不課税)	0	5,000	△ 5,000
	事務費	[5,846,368]	[5,859,682]	[△ 13,314]
	福利厚生費	(318,215)	(481,296)	(△ 163,081)

京都市洛西ふれあいの里デｲｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ区分 事業活動計算書

(自) 2022年 4月 1日 (至) 2023年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位: 円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	
	福利厚生費(課税)	231,370	419,697	△	188,327
	福利厚生費(不課税)	86,845	61,599		25,246
	旅費交通費	10,150	19,480	△	9,330
	研修研究費	8,220	27,560	△	19,340
	事務消耗品費	331,368	325,913		5,455
	印刷製本費	66,634	80,739	△	14,105
	修繕費	1,020,232	523,898		496,334
	通信運搬費	330,545	371,178	△	40,633
	会議費	0	550	△	550
	広報費	4,400	359,414	△	355,014
	業務委託費	2,552,358	2,930,838	△	378,480
	手数料	53,077	62,144	△	9,067
	保険料	0	△ 1,500		1,500
	租税公課	213,900	109,700		104,200
	保守料	537,004	542,972	△	5,968
	渉外費	188,286	2,500		185,786
	諸会費	(4,000)	(1,000)	(	3,000)
	諸会費(不課税)	4,000	1,000		3,000
	雑費	(207,979)	(22,000)	(	185,979)
	雑費(課税)	23,800	22,000		1,800
	雑費(不課税)	184,179	0		184,179
	減価償却費	[4,321,582]	[4,448,701]	[△	127,119]
	国庫補助金等特別積立金取崩額	[△ 304,152]	[△ 288,559]	[△	15,593]
	サービス活動費用計(2)	88,614,028	76,744,756		11,869,272
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 2,492,204	5,503,683	△	7,995,887
Ⅰ 収益活動外費用増減の部	その他のサービス活動外収益	[999,799]	[722,780]	[	277,019]
	利用者等外給食収益	804,990	717,780		87,210
	雑収益	(194,809)	(5,000)	(	189,809)
	雑収益(不課税)	194,809	5,000		189,809
	サービス活動外収益計(4)	999,799	722,780		277,019
	支払利息	[9,024]	[15,387]	[△	6,363]
	その他のサービス活動外費用	[504,951]	[439,600]	[	65,351]
	利用者等外給食費	493,500	439,600		53,900
	雑損失	11,451	0		11,451
	サービス活動外費用計(5)	513,975	454,987		58,988
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	485,824	267,793		218,031
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 2,006,380	5,771,476	△	7,777,856
特別増	収 拠点区分間繰入金収益	[7,780,000]	[0]	[	7,780,000]
	益 拠点区分間固定資産移管収益	[1]	[1]	[	0]
	特別収益計(8)	7,780,001	1		7,780,000
別増	固定資産売却損・処分損	[0]	[1]	[△	1]
	器具及び備品売却損・処分損	0	1	△	1

京都市洛西ふれあいの里デイサービスセンター区分 事業活動計算書

(自) 2022年 4月 1日 (至) 2023年 3月31日

社会福祉法人京都総合福祉協会

(単位：円)

勘定科目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A) - (B)
減 の 用 部	国庫補助金等特別積立金積立額	[179,000]	[0]	[179,000]
	拠点区分間繰入金費用	[11,077,000]	[11,390,000]	[△ 313,000]
	拠点区分間固定資産移管費用	[0]	[1]	[△ 1]
	その他の特別損失	[0]	[2,719,695]	[△ 2,719,695]
	特別費用計(9)	11,256,000	14,109,697	△ 2,853,697
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 3,475,999	△ 14,109,696	10,633,697
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		△ 5,482,379	△ 8,338,220	2,855,841
繰 越 活 動 の 部	前期繰越活動増減差額(12)	31,457,451	34,995,671	△ 3,538,220
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	25,975,072	26,657,451	△ 682,379
	基本金取崩額(14)	[0]	[0]	[0]
	その他の積立金取崩額(15)	[0]	[7,300,000]	[△ 7,300,000]
	人件費積立金取崩額	0	2,000,000	△ 2,000,000
	修繕積立金取崩額	0	4,800,000	△ 4,800,000
減 差 額 の 部	備品等購入積立金取崩額	0	500,000	△ 500,000
	その他の積立金積立額(16)	[0]	[2,500,000]	[△ 2,500,000]
	人件費積立金積立額	0	2,500,000	△ 2,500,000
	次期繰越活動増減差額 (17)=(13)+(14)+(15)-(16)	25,975,072	31,457,451	△ 5,482,379

京都市洛西ふれあいの里デ・イ・センター区分 貸借対照表

2023年 3月31日現在

社会福祉法人京都総合福祉協会

社会福祉法人京都総合福祉会

資 産 の 部			負 債 の 部			(単位: 円)	
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産				流動負債	20,292,354	15,346,413	4,945,941
現金預金	27,713,738	24,508,944	3,204,794	事業未払金	6,039,079	5,307,847	731,232
事業未収金	10,714,209	8,303,783	2,410,426	その他の未払金	102,463	94,047	8,416
未収補助金	15,291,379	14,156,161	1,135,218	1年以内返済予定リース債務	24,614	119,415	△ 94,801
	1,708,150	2,049,000	△ 340,850	未払費用	627,700	0	627,700
				預り金	428	357	71
				職員預り金	102,463	94,047	8,416
				拠点区分間借入金	8,790,607	7,390,700	1,399,907
				賞与引当金	4,605,000	2,340,000	2,265,000
固定資産	77,936,556	81,820,557	△ 3,884,001	固定負債	0	17,617	△ 17,617
その他の固定資産	77,936,556	81,820,557	△ 3,884,001	リース債務	0	17,617	△ 17,617
建物	10,930,537	11,967,342	△ 1,036,805	負債の部合計	20,292,354	15,364,030	4,928,324
構築物	1,164,357	1,261,192	△ 96,835	純 資 産 の 部			
車両運搬具	5,311,164	7,753,670	△ 2,442,506	国庫補助金等特別積立金	882,868	1,008,020	△ 125,152
器具及び備品	1,911,184	2,106,621	△ 195,437	国庫補助金等特別積立金	882,868	1,008,020	△ 125,152
有形リース資産	0	13,978	△ 13,978	その他の積立金	58,500,000	58,500,000	0
無形リース資産	24,614	123,054	△ 98,440	その他の積立金	58,500,000	58,500,000	0
類似資産	58,500,000	58,500,000	0	人件費	2,500,000	2,500,000	0
人件費	2,500,000	2,500,000	0	修繕	19,800,000	19,800,000	0
修繕	19,800,000	19,800,000	0	備品等購入	6,200,000	6,200,000	0
備品等購入	6,200,000	6,200,000	0	施設整備等	30,000,000	30,000,000	0
施設整備等	30,000,000	30,000,000	0	次期繰越活動増減差額	25,976,072	31,457,451	△ 5,482,379
差入保証金	30,000	30,000	0	(うち当期活動増減差額)	△ 5,482,379	8,338,220	△ 2,855,841
長期前払費用	64,700	64,700	0	純資産の部合計	85,357,940	90,965,471	△ 5,607,531
資産の部合計	105,650,294	106,329,501	△ 679,207	負債及び純資産の部合計	105,650,294	106,329,501	△ 679,207